

労働力調査（基本集計）

2020年（令和2年）10～12月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6689万人と、前年同期に比べ73万人の減少
- ・ 完全失業者数は201万人と、前年同期に比べ48万人の増加
- ・ 完全失業率（原数値）は2.9%と、前年同期に比べ0.7ポイントの上昇

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、沖縄を除く全ての地域で減少、沖縄は同数

- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、全ての地域で増加

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.3%	(0.9ポイント上昇)	近畿	3.1%	(0.8ポイント上昇)
東北	2.9%	(0.2 ")	中国	3.1%	(0.8 ")
南関東	3.1%	(1.0 ")	四国	2.7%	(0.7 ")
北関東・甲信	2.5%	(0.5 ")	九州	3.0%	(0.5 ")
北陸	2.6%	(0.6 ")	沖縄	3.6%	(0.9 ")
東海	2.5%	(0.6 ")			

図1 地域別完全失業率

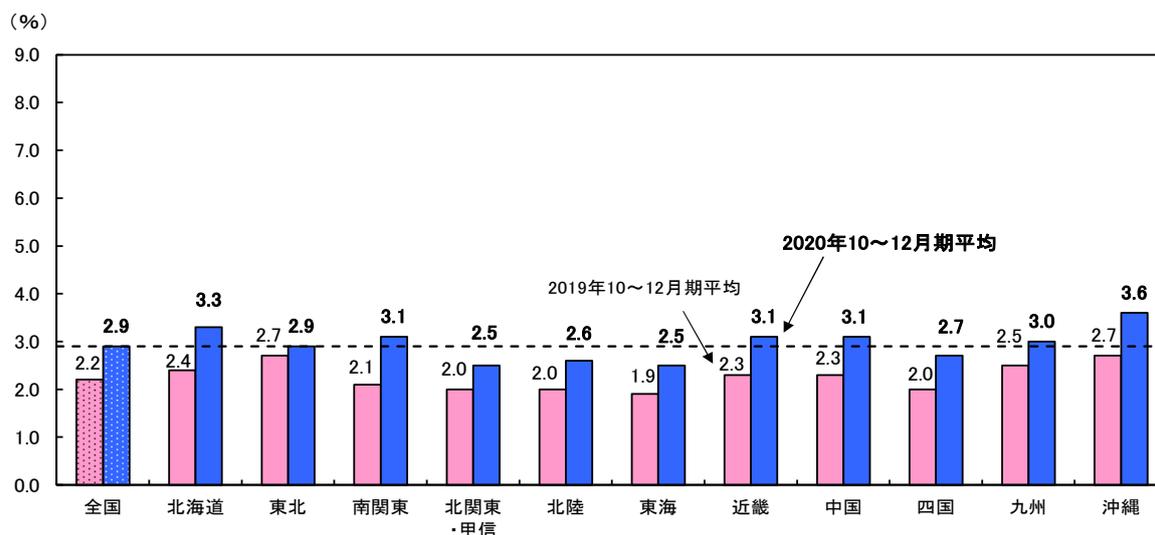


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

